



鹿嶋市の古墳を知る 歴史講演会「古墳と『常陸国風土記』」

8月19日、(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団主催による第27回歴史講演会「古墳と『常陸国風土記』」が、鹿嶋勤労文化会館の2階研修室で開催されました。

香島郡(現在の鹿嶋市)の古墳時代について、茨城大学人文社会科学部教授の田中裕先生による講演が行われ、県内外から参加した約150人の聴衆が熱心に聞き入っていました。

北浦に面した台地の縁辺部には、市内だけでも約400基の古墳が存在しています。その中でも須賀地区から宮中地区にかけて所在する宮中野古墳群は、県内最大級といわれています。



▲田中裕先生による講演会

この古墳群の中でも最大規模を誇る夫婦塚古墳は、全長107.5mにも及ぶ前方後円墳と、東側に家来のように付き従う小さな円墳2基で構成され、市の指定史跡になっています。

また、同館では講演会のほか、企画展『宮中野古墳群を造った人々』も同時開催され、講演会に参加した方たちが、古墳と周辺集落の発掘調査の出土品などを興味深げに見学していました。



▲企画展「宮中野古墳群を造った人々」

講演後すぐに夫婦塚古墳を見に行ってみると、古墳の上に何本もの樹木が伸びていて、歴史の奥深さととともに月日の流れを感じました。樹木の下は、ボランティア団体「鹿嶋里山の会」の皆さんによってきれいに草が刈られており、頂上の平坦な前方部と円錐形の後円部が確認できます。夫婦塚古墳に見入っていると、いにしえの人々の姿が草陰から湧き立ってくるように感じました。

今回の取材では、古墳を造った人々の当時の姿を思い描きながら、貴重な時間を過ごすことができました。



▲夫婦塚古墳

消費生活センター

だより

～9月は「高齢者向け悪質商法・ニセ電話詐欺被害防止キャンペーン」～ 高齢者を狙った悪質商法に注意

高齢者は、健康やお金、孤独などの不安を抱えている方が多いと言われており、悪質な業者はこれらの不安をあおり、財産を狙っています。不安に感じる事があったら、ご家族やご近所の方、または消費生活センターへ相談しましょう。



[事例]

○35年前に父が購入した他県の土地を高値で買取りたいと連絡があった。しかし「現地に行って調査が必要」などと言われ、登記費用など諸経費として高額な支払いをさせられた。

○「あなたが所有している山林を高値で売ります」と見知らぬ業者から連絡があった。その際、宣伝・広告代として50万円を支払ったが、その後、担当者はいつも不在であり業者の電話も繋がらなくなった。売れるまで責任を持つとのことであったが不安。

[事例解説と対策]

値上がりの見込みがないような土地を、将来値上がりするかのように偽って販売する手口を原野商法といいます。数年前から原野商法の二次被害と思われる相談が増えています。売ることも建物を建てることもできないまま月日が経ち、相続が発生する前に処分したいと考えていることを利用した手口です。

「土地を売るために必要」と測量費や地盤調査費、管理費などの名目で高額請求してくる場合や、「別の土地なら売れるから」と土地の交換話を持ち掛け、差額を請求するなど言葉巧みに売買契約を結ばせることもあります。

契約を検討する場合には、事前に登記情報を調べたり、できる限り現地に行って実際に自分や家族の目で土地を確認することが大切です。

消費生活センター ☎ 85-1320
消費者ホットライン ☎ 188

[市の花] はまなす



[市の木] 松



[市の鳥] きじ

